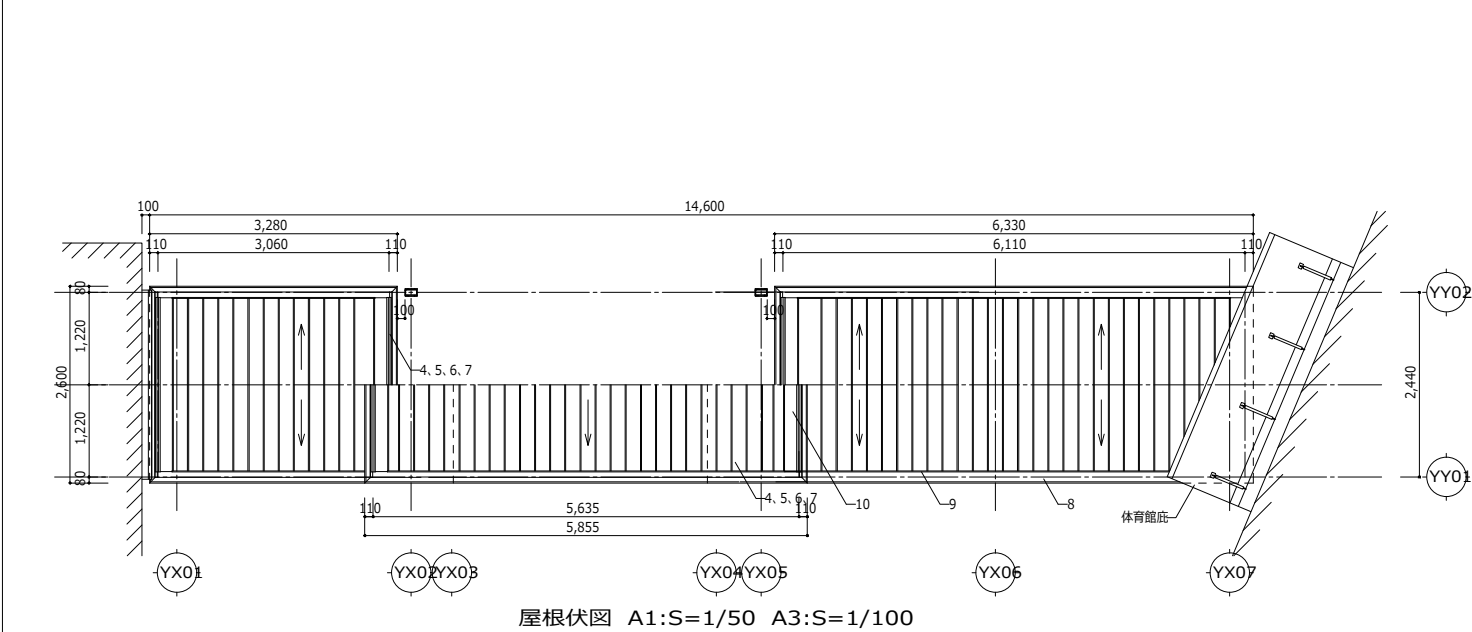
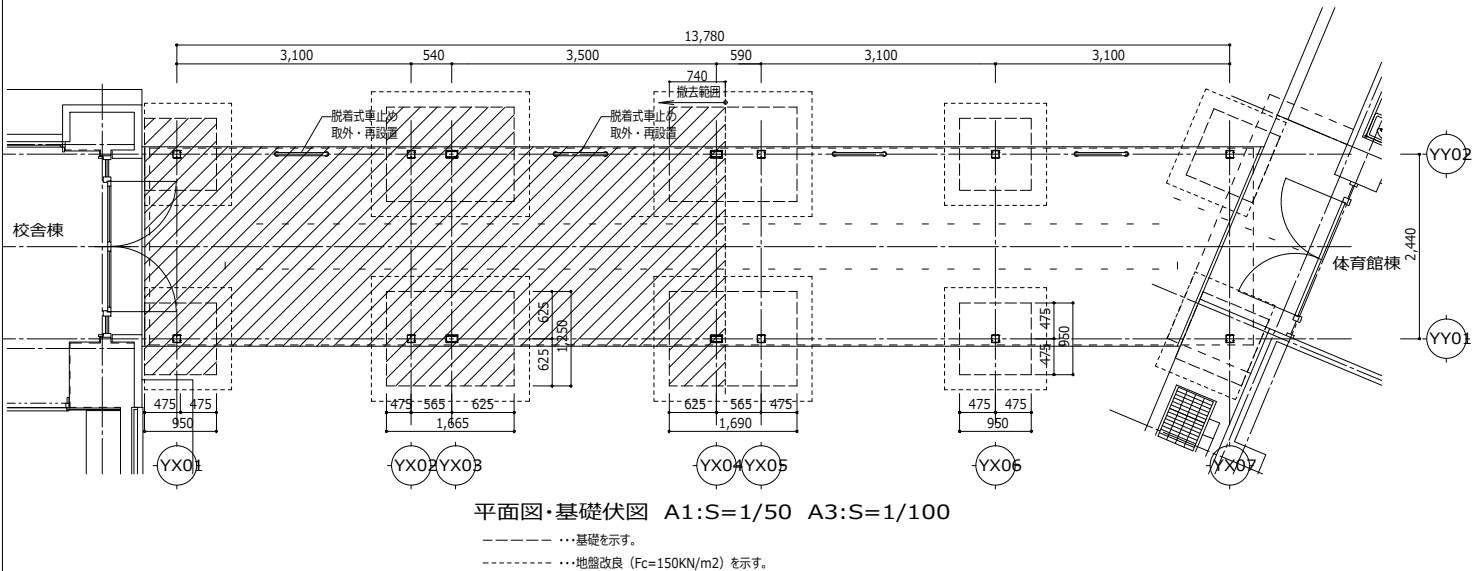


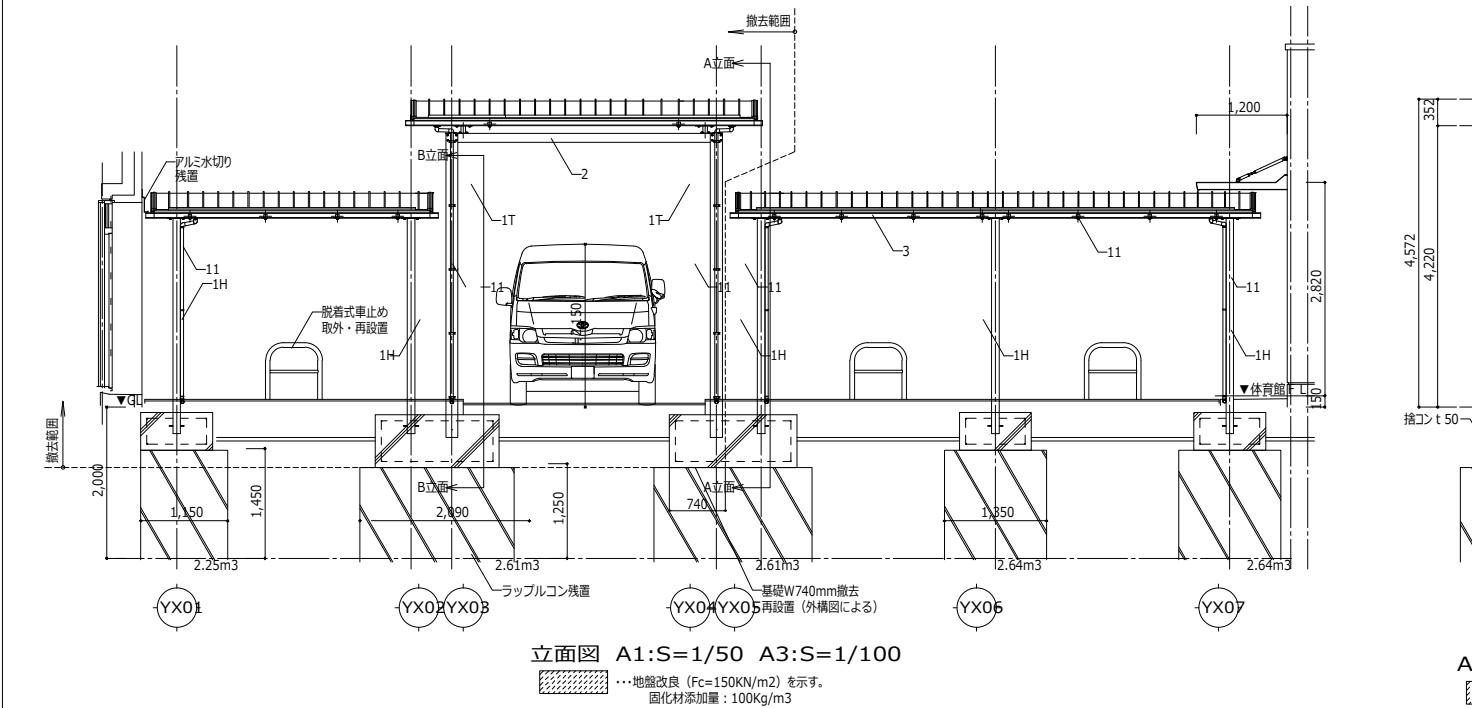


屋根伏図 A1:S=1/50 A3:S=1/100



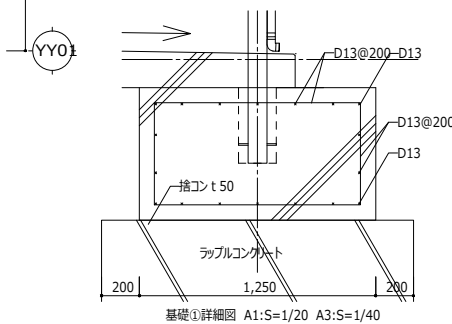
平面図・基礎伏図 A1:S=1/50 A3:S=1/100

---基礎を示す。
---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。

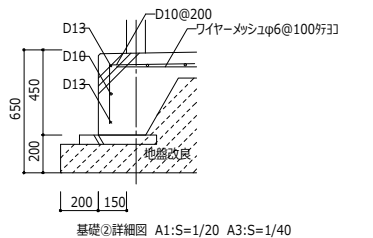


立面図 A1:S=1/50 A3:S=1/100

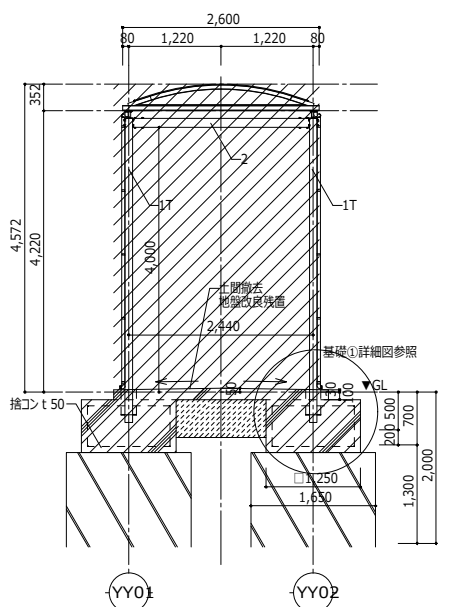
---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。
固化材添加量: 100Kg/m3



基礎①詳細図 A1:S=1/20 A3:S=1/40

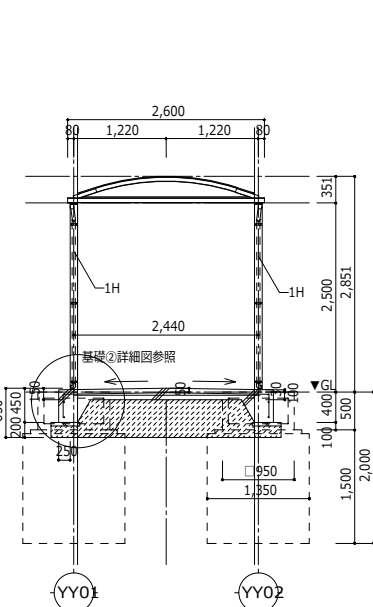


基礎②詳細図 A1:S=1/20 A3:S=1/40



A立面 A1:S=1/50 A3:S=1/100

---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。
固化材添加量: 100Kg/m3



B立面 A1:S=1/50 A3:S=1/100

---地盤改良 (Fc=150KN/m2) を示す。
固化材添加量: 100Kg/m3

代表: 株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078

工事名
岡谷市川岸学園整備 第2期
(接続棟建設)
建築主体工事

発行日 2025.09.30
図面名称

外構撤去詳細図 (3)

縮尺 図示

A-082 入札用
25.09.30

概略工程表

		R7.12	R8.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	R9.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
第2期 (長寿命化大規模改修)	建築主体工事		調査・準備工事	外壁洗浄・アスベスト処理	建具撤去					サッシ取付・外部仕上				外構工事												
	仮設校舎 引越				内部解体・アスベスト処理				解体後調査				内部仕上			引越										
	電気設備工事 機械設備工事			既存撤去					配線・配管・機器取付				配線・配管・機器取付			試験調整	検査									
第2期 (接続棟建設)	建築主体工事		調査・準備工事	根切・地盤・基礎躯体			資材運搬	床躯体・屋上防水		外壁	建具・断熱			内部仕上			既存接続部仕上	検査	引越							
	電気設備工事 機械設備工事			スリーブ他	配中配管他			スリーブ他	配中配管他				配線・配管・機器取付			試験調整	検査									
				スリーブ他	配中配管他			スリーブ他	配中配管他				配線・配管・機器取付			試験調整	検査									
第3期 (幼保連携型認定こども園建設)	建築主体工事							調査・準備工事		根切・地盤・基礎躯体		資材運搬	床躯体・屋上防水							外構工事(こども園部分)						
	電気設備工事 機械設備工事																			西部中学校改修・接続部仕上						
																				内部仕上						

フェーズ①

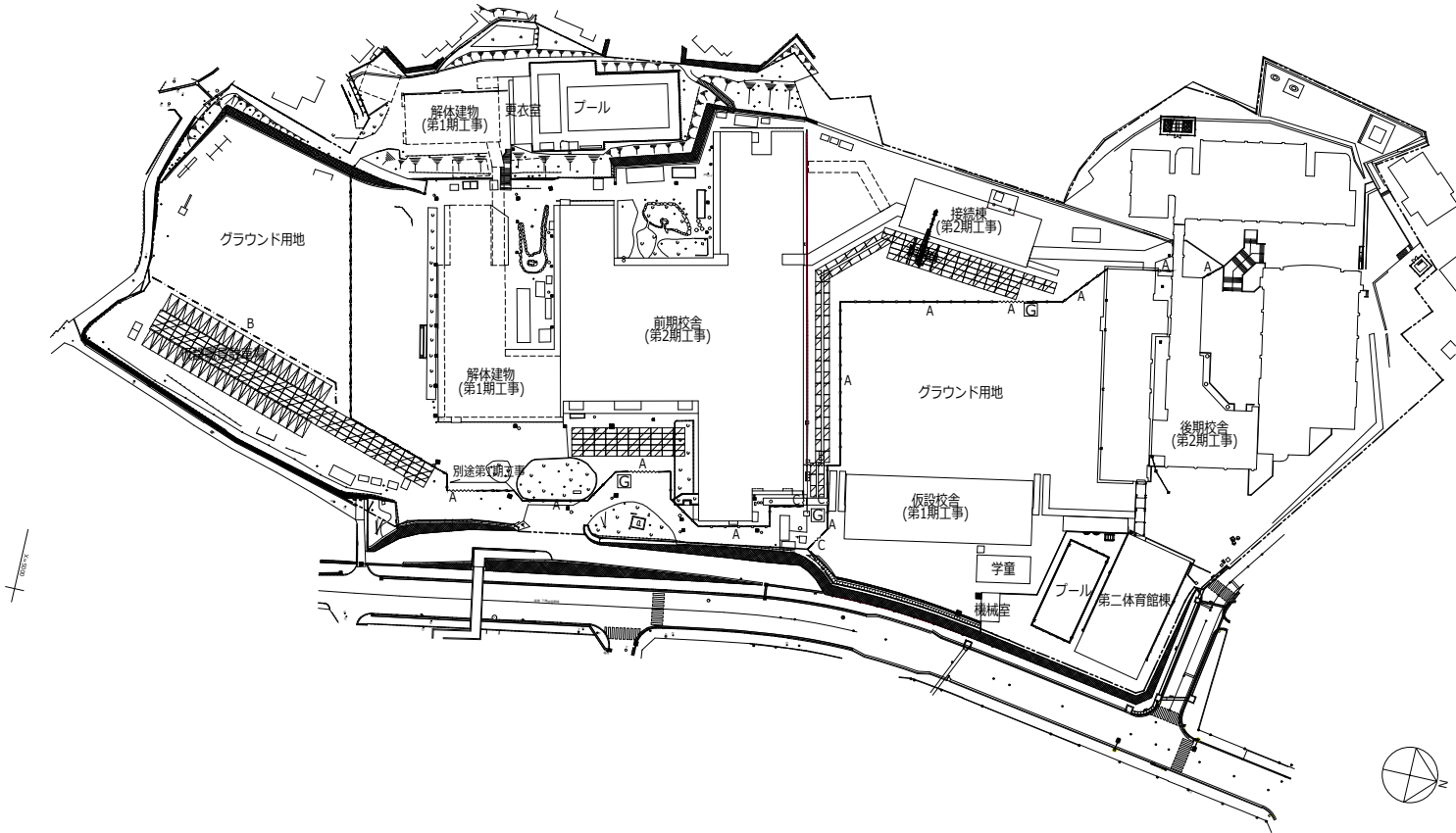
2026年1月～2026年7月（7ヶ月）

第1期（既存校舎解体）
既存校舎解体

第2期（長寿命化大規模改修）
外構撤去・長寿命化改修

第2期（接続棟建設）
外構撤去・接続棟建設

第3期（認定こども園建設）
着工前



凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
	A 仮囲いA	148m	95m		カラー万能鋼板（白） H3000
	B 仮囲いB		63m		A型バリケード 単管2m共
	A キャスターゲートA	1ヶ所	1ヶ所		パネルキャスターゲートH2000 W=8m
	B キャスターゲートB	1ヶ所			パネルキャスターゲートH2000 W=6m
	C キャスターゲートC	1ヶ所	1ヶ所		パネルキャスターゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板	122枚	162枚		t=22 1524x3048
	交通誘導員	165人日	190人日		交通誘導警備員（B）

- 特記事項
- 仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。
 - 仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬出入時間は監督職員と協議の上決定する。
 - 生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。
 - やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。
 - 学校行事によるグラウンド使用時の仮設配慮事項については別途監督職員と協議の上決定する。
 - 一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。
 - また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。
 - 敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。

代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
(接続棟建設)
建築主体工事

発行日 2025.09.30
図面名称

仮設計画図（1）

縮尺 A1:1/1000,A3:1/2000

A-083

入札用
25.09.30

フェーズ②

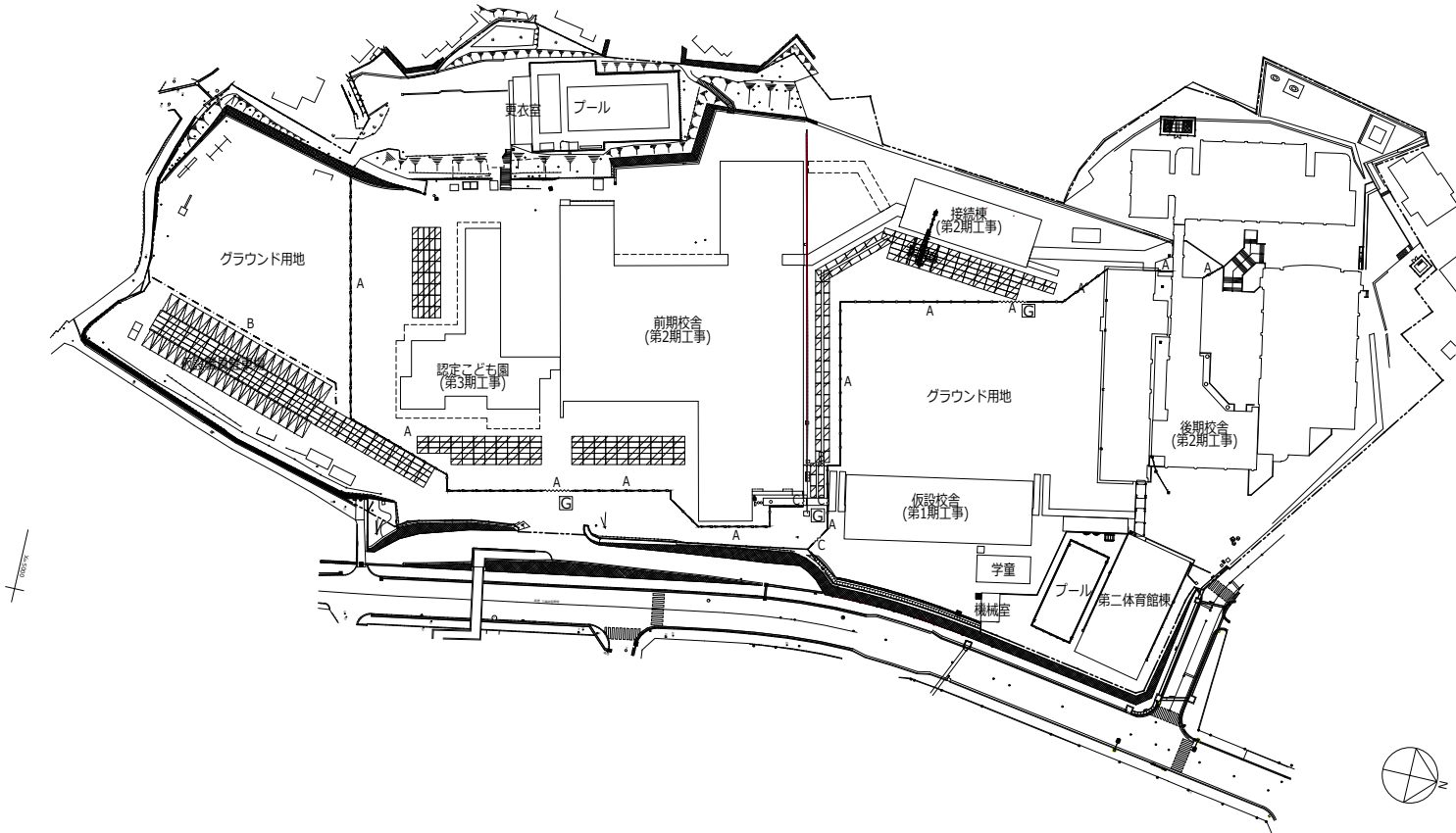
2026年8月～2027年2月（7ヶ月）

第1期（既存校舎解体）
休工

第2期（長寿命化大規模改修）
長寿命化改修・外構工事

第2期（接続棟建設）
接続棟建設・外構工事

第3期（認定こども園建設）
園舎建設

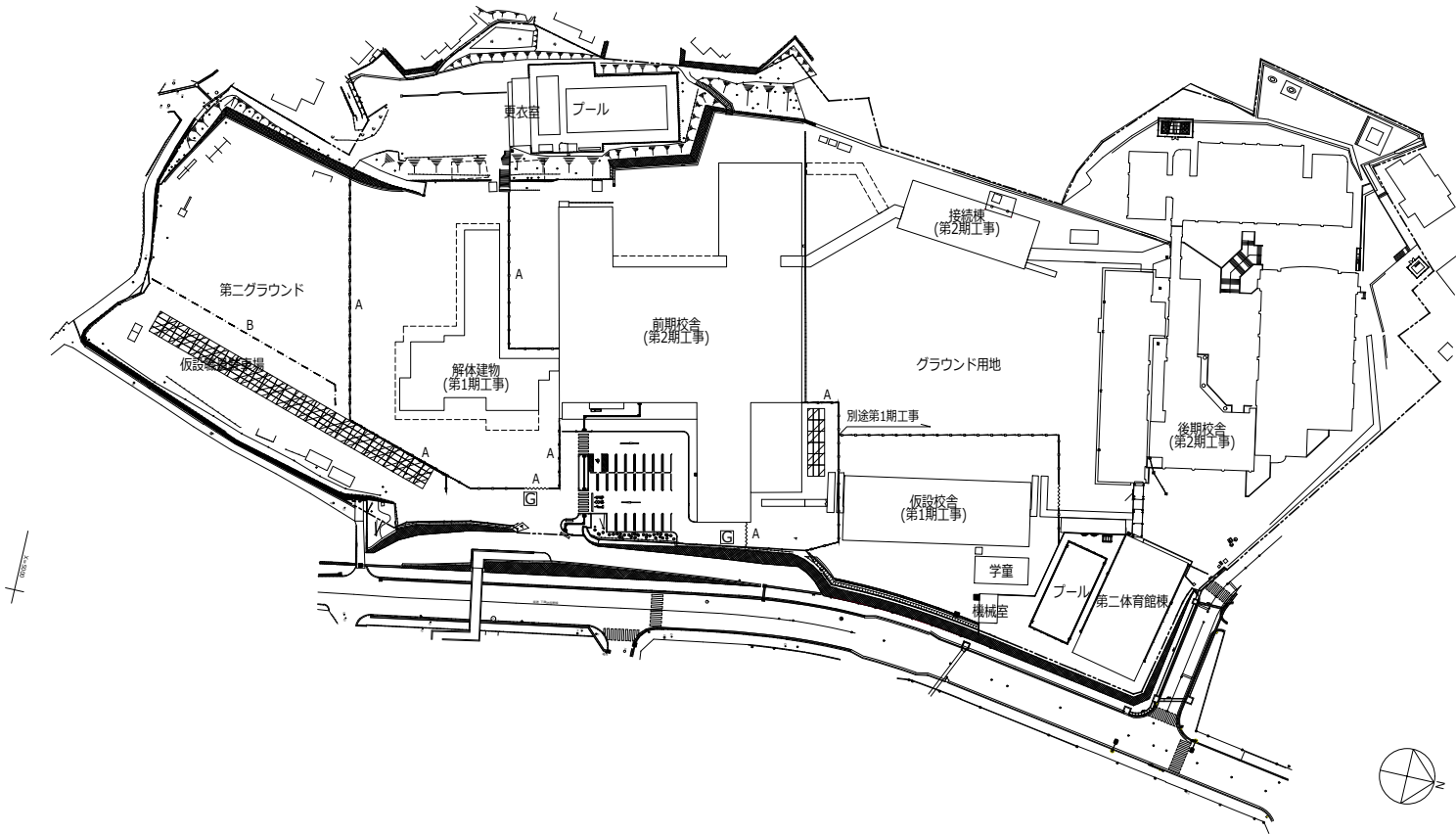


凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
	A 仮囲いA	148m	75m	130m	カラー万能鋼板（白） H3000
	B 仮囲いB		63m		A型バリケード 単管2m共
	A キャスターゲートA	1ヶ所	1ヶ所		パネルキャスターゲートH2000 W=8m
	B キャスターゲートB	1ヶ所			パネルキャスターゲートH2000 W=6m
	C キャスターゲートC	1ヶ所	1ヶ所		パネルキャスターゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板	122枚	162枚	89枚	t=22 1524x3048
	交通誘導員	165人日	140人日	140人日	交通誘導警備員（B）

- 特記事項
- 仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。
 - 仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬出入時間は監督職員と協議の上決定する。
 - 生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。
 - やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。
 - 学校行事によるグラウンド使用時の仮設配慮事項については別途監督職員と協議の上決定する。
 - 一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。
 - また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。
 - 敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。

フェーズ③
2027年3月～2027年6月（4ヶ月）

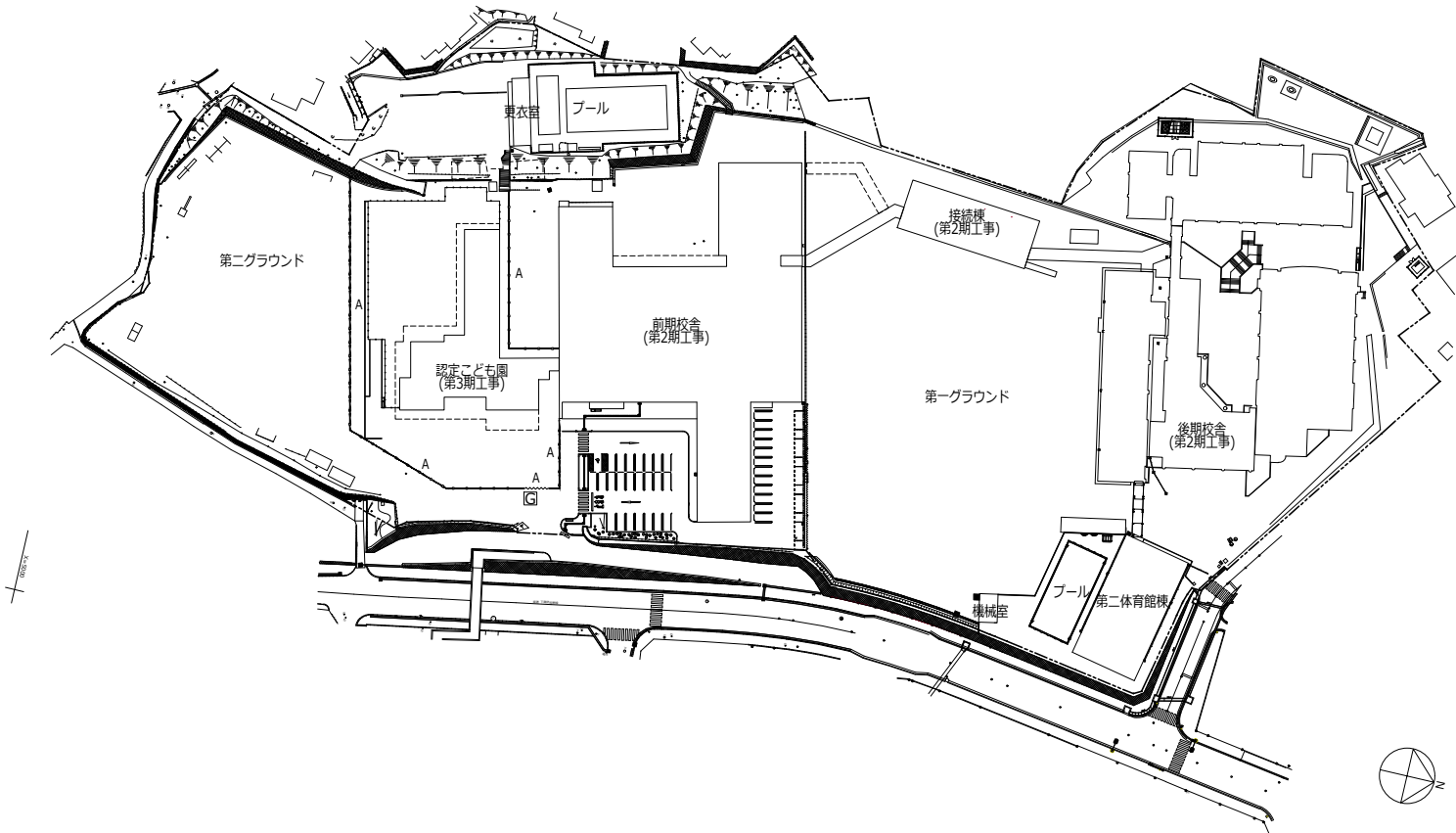
- 第1期（既存校舎解体）
仮設校舎解体
- 第2期（長寿命化大規模改修）
給食室解体・解体部分改修工事・外構工事
- 第2期（接続棟建設）
給食室解体・駐車場整備
- 第3期（認定こども園建設）
園舎建設・外構工事



凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
	A 仮囲いA		60m	200m	カラー万能鋼板（白）H3000
	B 仮囲いB		63m		A型/リケード 単管2m共
	A キャスターゲートA		1ヶ所	1ヶ所	パネルキャスターゲートH2000 W=8m
	B キャスターゲートB				パネルキャスターゲートH2000 W=6m
	C キャスターゲートC				パネルキャスターゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板		130枚		t=22 1524x3048
	交通誘導員		40人日	80人日	交通誘導警備員（B）
■特記事項					
・仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。					
・仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬出入時間は監督職員と協議の上決定する。					
・生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。					
・やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。					
・学校行事によるグラウンド使用時の仮設配慮事項については別途監督職員と協議の上決定する。					
・一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。					
また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。					
・敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。					

フェーズ④
2027年7月～2027年8月（2ヶ月）

- 第1期（既存校舎解体）
竣工・引き渡し後
- 第2期（長寿命化大規模改修）
竣工・引き渡し後
- 第2期（接続棟建設）
竣工・引き渡し後
- 第3期（認定こども園建設）
園舎建設・外構工事



凡例	名称	参考数量			仕様・備考
		第2期 接続棟	第2期 長寿命化	第3期 こども園	
	A 仮囲いA			200m	カラー万能鋼板（白）H3000
	B 仮囲いB				A型/リケード 単管2m共
	A キャスターゲートA			1ヶ所	パネルキャスターゲートH2000 W=8m
	B キャスターゲートB				パネルキャスターゲートH2000 W=6m
	C キャスターゲートC				パネルキャスターゲートH2000 W=2.5m
	敷き鉄板				t=22 1524x3048
	交通誘導員			40人日	交通誘導警備員（B）
■特記事項					
・仮囲い等仮設物は各期工事と調整し、適切に設置すること。					
・仮囲い他仮設物の設置位置及び資材搬出入時間は監督職員と協議の上決定する。					
・生徒児童の登下校時間帯の車両出入りは原則不可とする。					
・やむを得ず生徒児童の登下校時間帯の車両出入りがある場合は、監督職員と協議の上交通誘導員を増員するなど対策を講じる。					
・学校行事によるグラウンド使用時の仮設配慮事項については別途監督職員と協議の上決定する。					
・一時的な大型車両等の出入りでグラウンドを経由する場合は適切に交通誘導員を配置すること。					
また、地盤面の養生を行い、車両出入り後は速やかに復旧を行うこと。					
・敷地西側の地下水位が高い(ボーリング坑内水位GL-1m程度)ことを考慮し、排水ポンプ等適切な仮設費を見込むこと。					

代表：株式会社エーシー設計
一級建築士事務所登録
（長野） M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
（接続棟建設）
建築主体工事

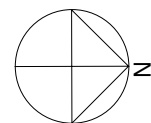
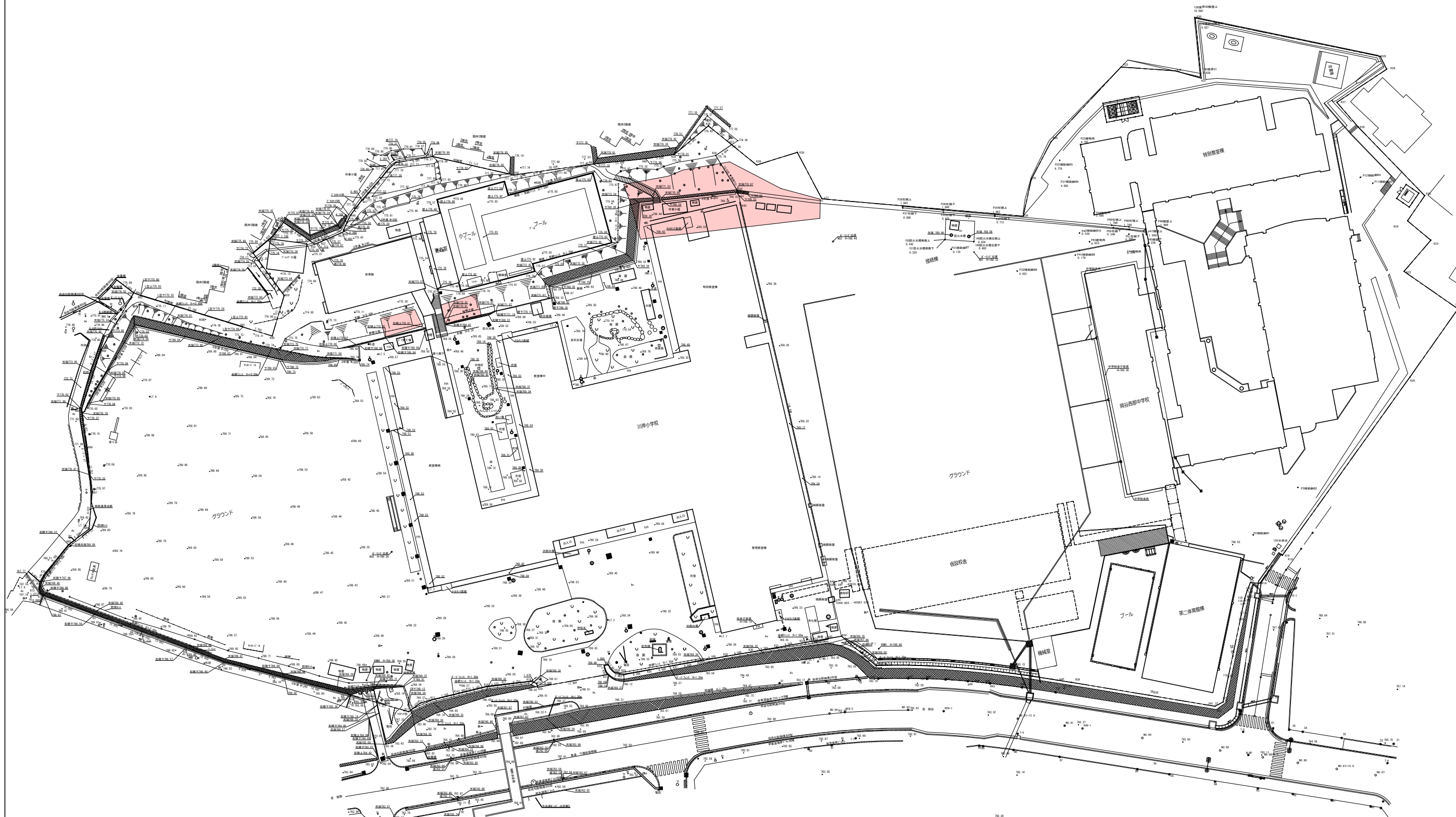
発行日 2025.09.30
図面名称

仮設計画図（2）

縮尺 A1:1/1000,A3:1/2000

A-084

入札用
25.09.30



代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
(接続棟建設)
建築主体工事

発行日 2025.09.30
図面名称

敷地現況図

縮尺A1:1/500,A3:1/1000

A-085

入札用
25.09.30

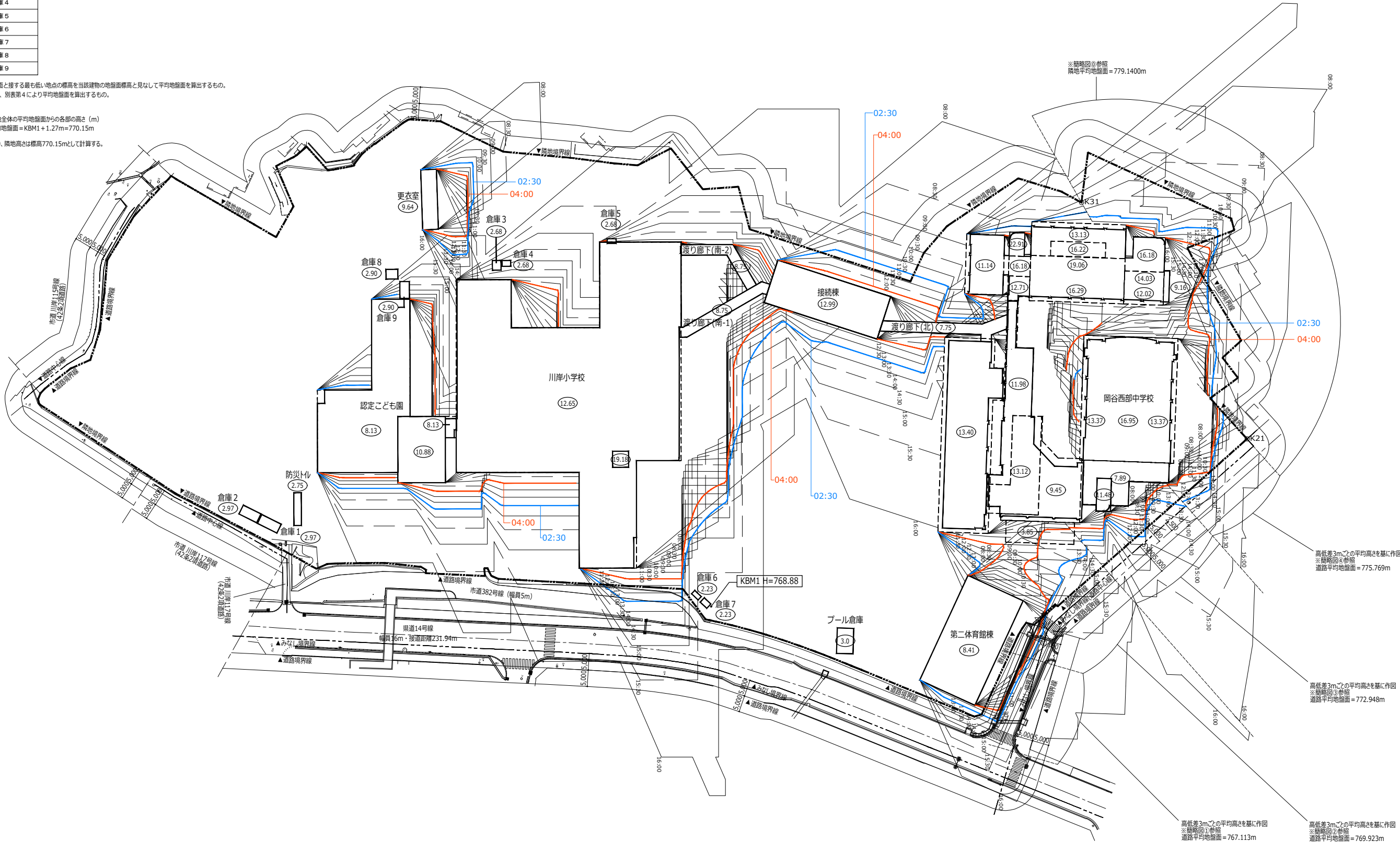
棟名	
I	川岸小学校
	幼保連携型認定こども園
	接続棟
	渡り廊下（北）
	渡り廊下（南-1）
II	渡り廊下（南-2）
	岡谷西部中学校
	第二体育館棟
	機械室
	更衣室
I	防災HL
	倉庫 1
	倉庫 2
	倉庫 3
	倉庫 4
	倉庫 5
	倉庫 6
	倉庫 7
	倉庫 8
	倉庫 9

基準倍率表				
時刻	方位角[度]	倍率	X	Y
8:00	-53.3242	7.2461	-4.6977	5.5170
8:30	-48.2158	4.4901	-2.5950	3.6643
9:00	-42.6802	3.2959	-1.6365	2.8609
9:30	-36.6714	2.6393	-1.0634	2.4155
10:00	-30.1639	2.2363	-0.6633	2.1356
10:30	-23.1650	1.9783	-0.3521	1.9467
11:00	-15.7270	1.8162	-0.0892	1.8140
11:30	-7.9544	1.7263	0.1491	1.7198
12:00	0.0000	1.6974	0.3792	1.6545
12:30	7.9544	1.7263	0.6148	1.6131
13:00	15.7270	1.8162	0.8704	1.5940
13:30	23.1650	1.9783	1.1649	1.5989
14:00	30.1639	2.2363	1.5272	1.6335
14:30	36.6714	2.6393	2.0093	1.7112
15:00	42.6802	3.2959	2.7192	1.8625
15:30	48.2158	4.4901	3.9319	2.1682
16:00	53.3242	7.2461	6.6316	2.9201

計算条件表		
節気/日付	冬至[12月22日頃]	
時刻法	真太陽時	
経度	36度02分46秒	
経度	138度01分46秒	
赤緯	-23度27分00秒	
測定開始時間	8時00分	
測定終了時間	16時00分	

I：各建物が地面と接する最も低い地点の標高を当該建物の地盤面標高と見なして平均地盤面を算出するもの。
II：法56条の2、別表第4により平均地盤面を算出するもの。

凡例
5.00 …敷地全体の平均地盤面からの各部の高さ (m)
平均地盤面 = KBM1 + 1.27m = 770.15m
※特記なき限り、隣地高さは標高770.15mとして計算する。



代表：株式会社エーシーエ設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
(接続棟建設)
建築主体工事

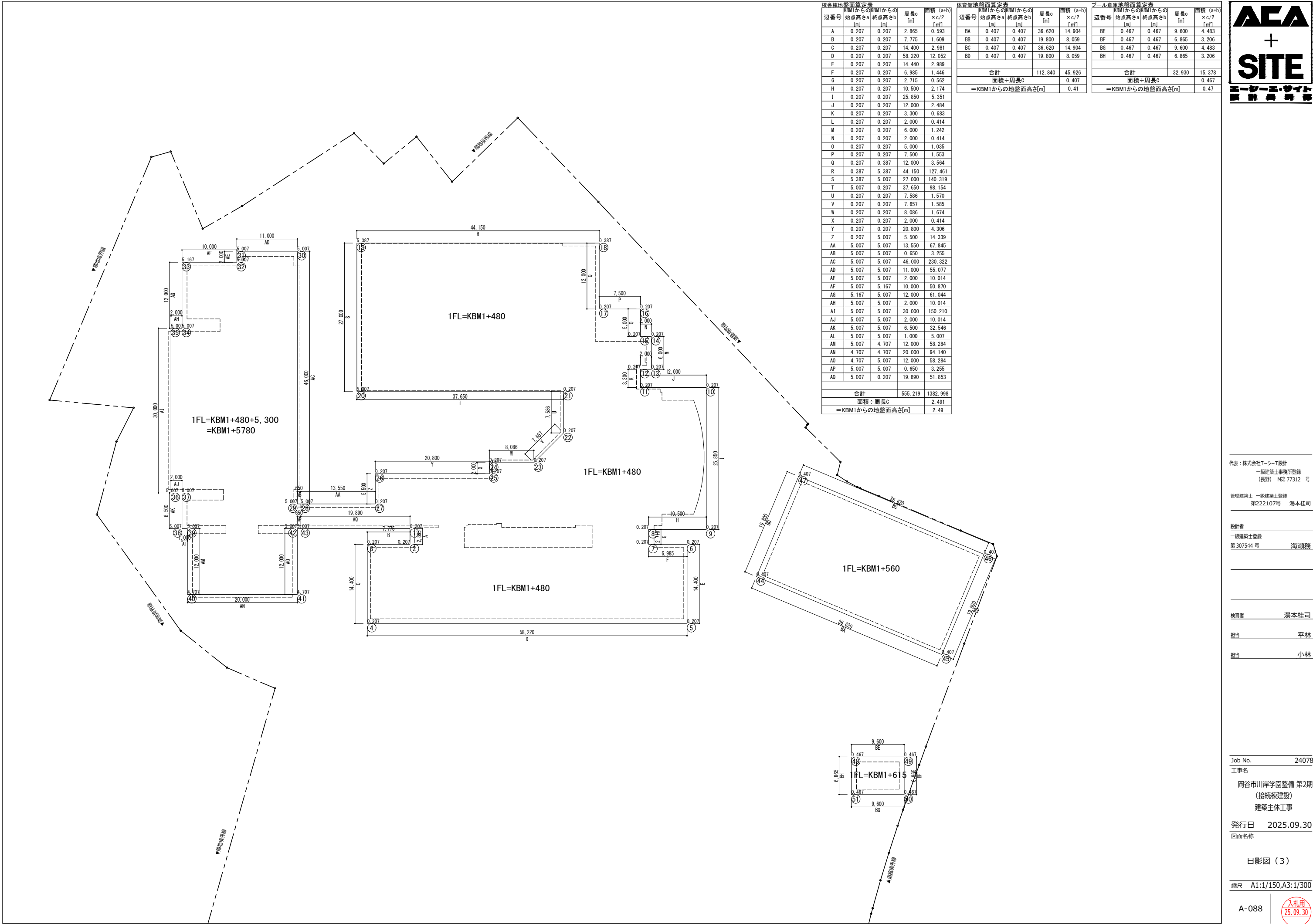
発行日 2025.09.30
図面名称

日影図 (1)

縮尺 A1:1/300,A3:1/600

A-086

入札用
25.09.30



校舎棟地盤面算定表			
辺番号	KBM1からの 始点高さa [m]	KBM1からの 終点高さb [m]	面積 (a+b) × c/2 [㎡]
A	0.207	0.207	2.865
B	0.207	0.207	7.775
C	0.207	0.207	14.400
D	0.207	0.207	58.220
E	0.207	0.207	14.440
F	0.207	0.207	6.985
G	0.207	0.207	2.715
H	0.207	0.207	10.500
I	0.207	0.207	25.850
J	0.207	0.207	12.000
K	0.207	0.207	3.300
L	0.207	0.207	2.000
M	0.207	0.207	6.000
N	0.207	0.207	2.000
O	0.207	0.207	5.000
P	0.207	0.207	7.500
Q	0.207	0.387	12.000
R	0.387	5.387	44.150
S	5.387	5.007	27.000
T	5.007	0.207	37.650
U	0.207	0.207	7.586
V	0.207	0.207	7.657
W	0.207	0.207	8.086
X	0.207	0.207	2.000
Y	0.207	0.207	20.800
Z	0.207	5.007	5.500
AA	5.007	5.007	13.550
AB	5.007	5.007	0.650
AC	5.007	5.007	46.000
AD	5.007	5.007	11.000
AE	5.007	5.007	2.000
AF	5.007	5.167	10.000
AG	5.167	5.007	12.000
AH	5.007	5.007	2.000
AI	5.007	5.007	30.000
AJ	5.007	5.007	2.000
AK	5.007	5.007	6.500
AL	5.007	5.007	1.000
AM	5.007	4.707	12.000
AN	4.707	4.707	20.000
AO	4.707	5.007	12.000
AP	5.007	5.007	0.650
AQ	5.007	0.207	19.890
合計			555.219
面積÷周長C			2.491
=KBM1からの地盤面高さ[m]			2.49

体育館地盤面算定表			
辺番号	KBM1からの 始点高さa [m]	KBM1からの 終点高さb [m]	面積 (a+b) × c/2 [㎡]
BA	0.407	0.407	36.620
BB	0.407	0.407	19.800
BC	0.407	0.407	36.620
BD	0.407	0.407	19.800
合計			112.840
面積÷周長C			0.407
=KBM1からの地盤面高さ[m]			0.41

プール倉庫地盤面算定表			
辺番号	KBM1からの 始点高さa [m]	KBM1からの 終点高さb [m]	面積 (a+b) × c/2 [㎡]
BE	0.467	0.467	9.600
BF	0.467	0.467	6.865
BG	0.467	0.467	9.600
BH	0.467	0.467	6.865
合計			32.930
面積÷周長C			0.467
=KBM1からの地盤面高さ[m]			0.47



代表：株式会社エーシーエー設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078

岡谷市川岸学園整備 第2期
(接続棟建設)
建築主体工事

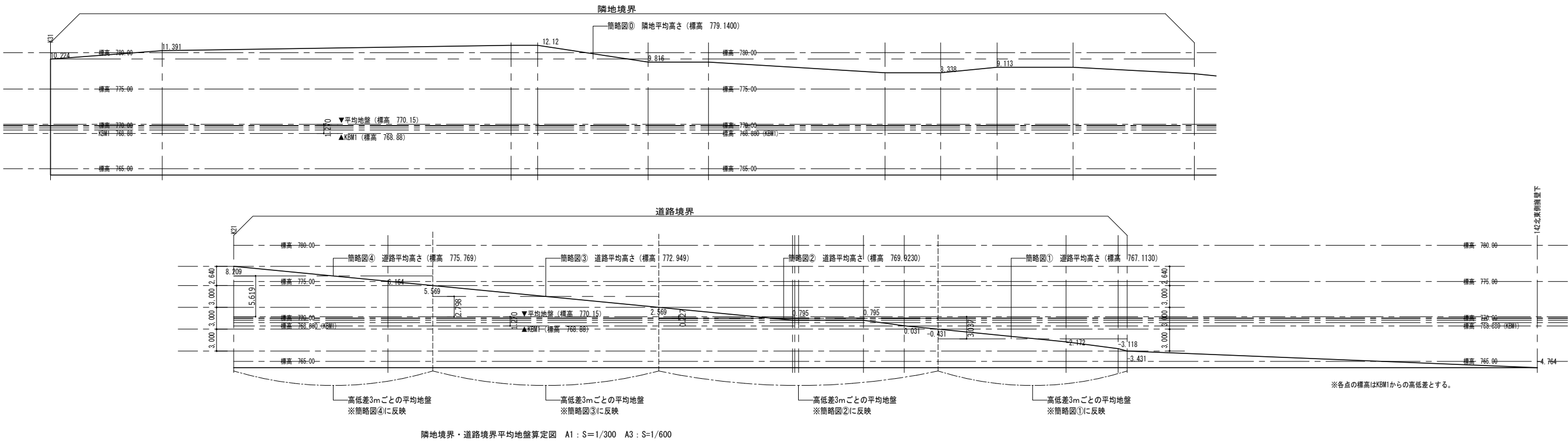
発行日 2025.09.30
図面名称

日影図 (3)

縮尺 A1:1/150,A3:1/300

A-088

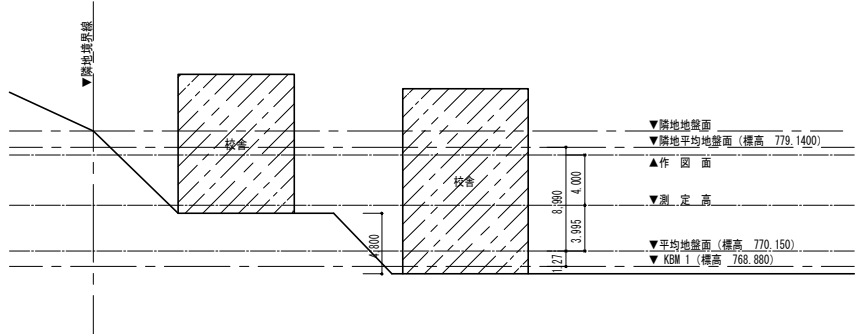
入札用
25.09.30



第一種住居地域

平均地盤からの測定高さ 4m

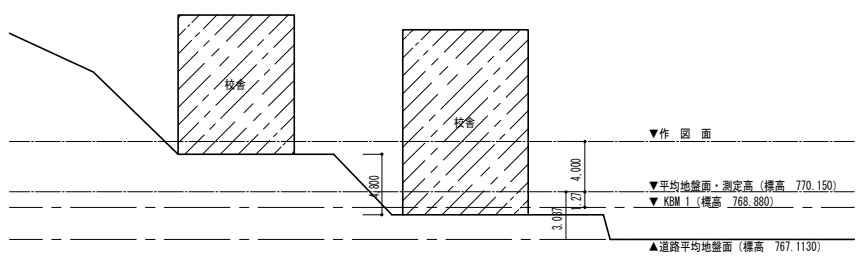
簡略図①（敷地に対する平均地盤）
隣地境界測定線算出



隣地平均地盤面＝779.1400m
平均地盤面＝770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(隣地平均地盤面-平均地盤面) = 779.1400-770.150 = 8.990m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
$$h = (H-1) / 2 = (8.990m - 1) / 2 = 3.995m$$

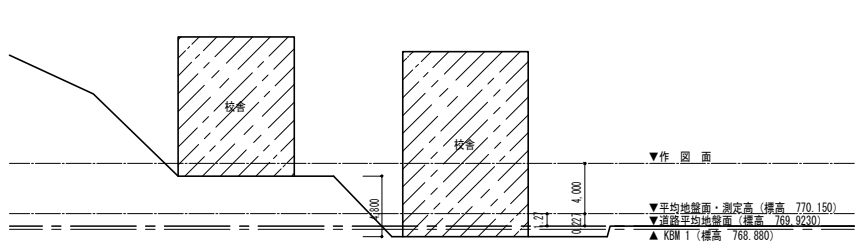
よって、地盤面は平均地盤面より3.995m高い位置にある事とする
KBM1からは1.270m+3.995m=5.265m高い位置にあるとする

簡略図①（道路に対する平均地盤）
道路境界測定線算出



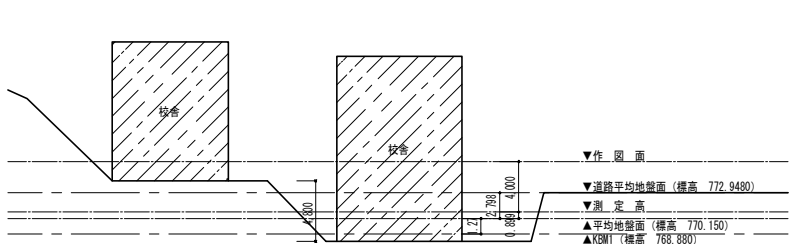
道路平均地盤面＝767.1130m
平均地盤面＝770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(道路平均地盤面-平均地盤面) = 767.1130-770.150 = -3.037m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
適用無し
よって、地盤面は平均地盤面からの計測となる。

簡略図②（道路に対する平均地盤）
道路境界測定線算出



道路平均地盤面＝769.9230m
平均地盤面＝770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(道路平均地盤面-平均地盤面) = 769.9230-770.150 = -0.227m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
適用無し
よって、地盤面は平均地盤面からの計測となる。

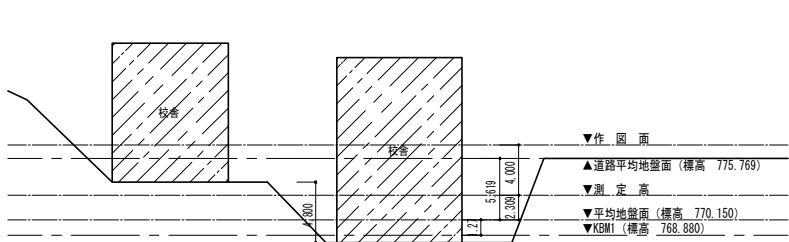
簡略図③（道路に対する平均地盤）
道路境界測定線算出



道路平均地盤面＝772.9480m
平均地盤面＝770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(隣地平均地盤面-平均地盤面) = 772.9480-770.150 = 2.798m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
$$h = (H-1) / 2 = (2.798m - 1) / 2 = 0.899m$$

よって、地盤面は平均地盤面より0.899m高い位置にある事とする
KBM1からは1.270m+0.899m=2.169m高い位置にあるとする

簡略図④（道路に対する平均地盤）
道路境界測定線算出



道路平均地盤面＝775.769m
平均地盤面＝770.150m (768.880m+1.270m)
※平均地盤面算定表による算定
(隣地平均地盤面-平均地盤面) = 775.769-770.150 = 5.619m
建築基準法施行令135条の12-3-2より
※隣地地盤面が1m以上高い場合の緩和
$$h = (H-1) / 2 = (5.619m - 1) / 2 = 2.3095m$$

よって、地盤面は平均地盤面より2.309m高い位置にある事とする
KBM1からは1.270m+2.309m=3.579m高い位置にあるとする

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078

工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
(接続棟建設)
建築主体工事

発行日 2025.09.30

図面名称

日影図 (4)

縮尺 A1:1/300,A3:1/600

A-089

入札用
25.09.30

岡谷市川岸学園整備 第2期（接続棟建設）

建築主体工事

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事種目

1. 後期校舎（現岡谷西部中学校）RC造
渡り廊下（北）接続に伴う改修
合同職員室 黒板改修

2. 工事内容

建築工事一式
外壁 改修工事
内装 改修工事
建具 改修工事
アスベスト 除去工事

3. 工事範囲

図示の範囲
※工事区分はA-012_工事区分表による

II 建築改修工事仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。
本特記仕様書、標準仕様書、改修標準仕様書内の“監督職員”は“工事監理者”と読み替えて適用しても良いこととする。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（ E ）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（ M ）図による。

（3）本特記仕様書の表記

1）項目は、○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の「 . . . 」内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
5）⑨印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」における判断の基準（特定調達調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断基準）を満たすものを示す。

1章 各章共通事項

○適用基準

1）図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。
○建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）国土交通省大臣官庁官庁官繕部
○宮繕工事電子納品要領（令和3年版）国土交通省大臣官庁官庁官繕部
○宮繕工事写真撮影要領（令和5年版）国土交通省大臣官庁官庁官繕部
○宮繕工事写真撮影要領・分解ノ工事写真の撮り方（令和5年版）国土交通省大臣官庁官庁官繕部

2）本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。
建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官庁官庁官繕部整備課

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速（V＝30 m/s）
地表面粗度区分（Ⅲ）
・積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（ ）

○工事現場管理

工事着手届
実際に着手した年月日を記入する。
請負契約後工事着手まで長時間に及ぶときは、その理由書を添付すること
監理技術者届
1級国家資格者であり経験年数（10）年以上であること。
現場代理人届
1級国家資格者として本工事に専任するものとする。
現場員名簿届
担当氏名、生年月日、最終学歴、経験年数、資格等を一連に記入したもの（履歴書添付）
下請負人承諾願
請負者は下請負人につき監督職員の承諾を得る。
縮小図面提出
請負者は、着工時に設計図面の1／2縮小製本図を（5）組1／1製本図を（2）組（製本図は表紙、背表紙とも封入入りとする）提出するものとする。（縮小図面はポリエステルフィルムとし原因提出。）

○書類の書式等

○施工体制台帳の作成（1,1,5）

○発生材の処理等

※構外搬出適切処理・現場説明書による（1,3,12）
また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め、監督職員と協議すること
・引渡しを要するもの
○再生資源の利用を図るもの1.コンクリート 2.コンクリート及び鉄から成る建設資材 3.木材 4.アスファルトコンクリート

○品質計画

○施工計画書による品質計画に基づき適切な時期に必要な管理を行う
○必要に応じて監督職員の検査を受ける
○品質管理の結果、疑義が生じた場合は監督職員と協議する

○電気保安技術者

○適用する・適用しない（1,3,3）

○条件明示項目

部分引渡し・無・有 範囲（ ）
引渡し時期：令和 9年 3月
部分使用・無・有 範囲（ 工事範囲以外 ）
使用開始時期：令和 7年11月
イメージアップ・行う（ ）

・見本施工の実施

・実施する（内容： ）
・実施しない

○環境への配慮

（1,4,1）

○材料の品質等

（1,4,2）

1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4）本工事に使用する材料のうち、5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料
・床型枠用鋼製デッキプレート ・鉄骨柱下無収縮モルタル
・無収縮グラウト材 ・乾式保護材
・既製調合モルタル（タイ工用） ・既製調合目地材
・ルーフレイン ・吸水調整材 ・錠前類 ・クローザ類
・自動扉機構 ・自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）
・重量シャッター ・軽量シャッター ・オーバーヘッドドア
・防水剤 ・現場発泡断熱材（特定のフロアによるものを除く）
・フリアクセスドア ・可動間仕切 ・移動間仕切 ・トイレブース
・煙突用成形ライニング材 ・天井点検口 ・床点検口
・クレーンクック ・屋上緑化用システム ・トップライト
・エポキシ樹脂 ・ホリマーセメントモルタル ・鋳鉄製ふた

○技能士

（1,7,2）

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	○どび作業
鉄筋工事	○鉄筋組立作業
コンクリート工事	○型枠施工 ○コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	○構造物鉄工作業 ○どび作業
コクリートフロア・ALCパネル工事	・コンクリートフロア工事作業 ・ALCパネル工事作業
押出成形セメント板工事	・押出成形セメント板工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ○ポリウレタン系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○ポリウレタン防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・ケイ酸質系塗布防水
石工事	・石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	○大工工事作業
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業
金属工事	○鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業
左官工事	○左官作業
建具工事	○ビル用サッシ施工作業 ○ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業 ・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業
カーテンウォール工事	・ガラス工事作業
塗装工事	○建築塗装作業
内装工事	・アクリル系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○壁装作業
排水工事	○建築配管作業
舗装工事	・溶融ベントナイトマーカ工事作業 ・加熱ベントナイトマーカ工事作業
植栽工事	・造園工事作業

○化学物質の濃度測定

（1,7,9）

※ 施工完了時の測定対象室の測定 ○実施する ・実施しない
・着工前の測定対象室の測定 ・実施する ○実施しない
1）室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
2）測定対象室及び測定箇所数は仕上り表による。
3）測定は、パッシブ型採集機器により行う。
4）測定方法は、特記仕様書補足事項による。

○技術検査

（1,8,2）

5）測定結果の報告は、原則として全ての測定対象化学物質について、測定値が厚生労働省の指針値以内であることを確認し、測定結果を監督職員に報告すること。
（1,8,2）
中間技術検査 ・行わない
※ 行う（※建築基準法第7条の3に規定する特定工程終了時・駆体完了時）

○完成図等

（1,9,2）

完成図
※ 作成する
様式等 作成方法 部数 備考
原図 CADデータ 1
総合版製本 見開きA3製本 3
※原図修正または新規作成
※完成図 A-3版に縮小した2つ折製本（表紙、背表紙共、工事名称、印字、白焼き図）で提出する事。
※保全に関する資料（部数 1部）
※完成図の構成は原則、設計図と同様とするほか、監督職員との協議による。
※図面枠は工事受注者名とする。
ア 竣工図：作成した竣工図のCADデータ
データ形式はAutoCad LT互換データとする。
※提出する ・提出しない
イ 完成写真：外観、内観、ロビー等の完成写真
データ形式はJPEG、解像度は300dpi程度とする
※提出する ・提出しない
ウ 提出媒体と組数
12cm CD-R ※2組
○ 施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
・ 完成写真
下記のを監督職員に提出する。ただし、原画は撮影業者の保管とする。
分類・規格 撮影箇所数 提出部数 備考・原画の大きさ（mm）
・モノクローム
・キャビネ版 外部（ ）内部（ ） ※2 ・ ※100×125以上
・カラー
・キャビネ版 外部（ ）内部（各室） ※2 ・6 ※100×125以上
（他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）
・カラー プック 外部（ ）内部（ ） ※2 ・4 デザインブック
※ボード サイズ（※255 250×250mm ）（銀塩印画紙タイプ）
・ハードカバー ページ数 サイズ：255
（※16 ・20 ・22 ・28 ・30 ・40）専用ブックケース付（半透明）
・カラー四切木製パネル 外部（ ）内部（ ） ※2 ・ ※100×125以上
・カラー全紙木製パネル 外部（ ）内部（ ） ※2 ・
・電子データ①（写真） 撮影箇所全て ※2 ・ ※500万画素以上
・電子データ②（写真） 撮影箇所全て ※2 ・ ※300万画素以上
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者
（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）
・SS名古屋（052-991-1161）・ミヤガワ（026-228-6633）
・（株）ロココプロデュース（0263-31-8315）
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
※ 図示 ・設計GL＝現状GL
○「宮繕工事電子納品要領（令和3年版）」による
○着工前状況及び完成後の工事写真について電子データで1部提出すること。

2章 仮設工事

○騒音・粉じん等の対策

（2,1,3）

○防音パネル
○防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・

岡谷市川岸学園整備 第2期（接続棟建設）
建築主体工事

特記仕様書

担当者 平林
担当者 小林

発行日 2025.09.30
図面名称

改修特記仕様書(1)

縮尺 二

KA-001

入札用 25.09.30

代表：株式会社エーシー工設計
一級建築士事務所登録
(長野) M第 77312 号

管理建築士 一級建築士登録
第222107号 湯本桂司

設計者
一級建築士登録
第 307544 号 海瀬務

検査者 湯本桂司

担当 平林

担当 小林

Job No. 24078
工事名

岡谷市川岸学園整備 第2期
(接続棟建設)
建築主体工事

発行日 2025.09.30
図面名称

改修特記仕様書(1)

縮尺 二

KA-001

Copyright (C)株式会社エーシー工設計 著作権者の許可なく複製、転載、第三者開示等の行為を禁止する。

[illegible]

ルーフィングシートの種類及び厚さ

種類・厚さ・mm

※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による

絶縁用シート

※発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状

・

※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板

脱気装置の種類及び設置数量

種類

・

※ルーフィングシート製造所の仕様による

設置数量

・個

※ルーフィングシート製造所の仕様による

接着工法の目地処理

・プレキャストコンクリート下地（・）

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合）

・行う（・図示・）

・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

（3.6.1～4）

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射 反射率 防水の 適用	備考
・POX	・ ※X-1		・ ・製造所の仕様による	・ ・製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	・ ※X-2				脱気装置 ・設ける ○設けない

・かぶせ方式
エバーコートZero-1H ZHOR-300工法 同等品
ウレタンゴム系塗膜防水X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類
・
設置数量
・個
※主材料の製造所の仕様による

工 法	種 別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	・ ※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
・P2Y	・ ※Y-2 ・			・設ける ・設けない

（3.7.2.3、7.8）

シーリング改修工法の種類
○シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ポンドブレーカー張り・適用する・適用しない
エッジング材張り・適用する・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC	MS-2
アルミニウム製建具等の工場シール	PS-2

シーリング材の目地寸法・
・図示
※改修標準仕様書3.7.3(1a)(7)～(9)
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験・引張接着性試験

（3.9.2.3）

種類
・オープン形式（・押出250形・押出300形・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式・シール形式）
本体幅（）mm 板厚（・mm ※2.0mm）
表面処理
種別・
着色・標準色（）・特注色（）
既存桟木等の撤去
・行う（範囲・図示・全て）
・行わない
下地補修の工法
※図示・
板材折曲げ形の桟木の取付方法
※図示・
桟木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・とい

（3.8.2.3）
といその他の材種
・配管用鋼管・硬質ポリ塩化ビニル・ルーフトレン・アルミ製
ルーフトレンの材種その他

種 別	材 種	張掛け幅
・ろく屋根用（・縦型・横型）	・鉄鉄	・100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー用	・	・100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー中継用	・	・100mm以上 ・50mm以上

とい受金物
材種・
形状・
※溶融亜鉛めっきを行ったもの
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
取付け間隔・
足金物
材種・
形状・
※溶融亜鉛めっきを行ったもの
※市販品
取付け間隔・
多雪地域の軒どい取付間隔・適用する○適用しない

ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
・
既存といその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
※図示・
鋼管製といの防露巻き
・
※改修標準仕様書表3.8.4による
たてとい受金物の取付け
※図示・
ルーフトレンの取付け
・
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

（13.2.2.3）

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（mm）	厚さ	屋根葺き形式	備考
	・ ※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺き ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材（・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ）

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
雪止め・設置する（施工箇所・図示・）

（13.3.2.3）

施工箇所	形式	山窩、山ピッチによる区分	山窩、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ跡め形 ・かん合形			（）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料
板及びコイルの種類（）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理（標準仕様書表14.2.2による・E種・F種）
断熱材
・有り（種別：厚さ（mm）：防火性能：時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1.0・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
折板のくらは納め
・
※くらは包みによる方法

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。
・ガルバリウム等 保証期間 10年
・折板 保証期間 10年
・長尺カラー鉄板 保証期間 5年

・施工数量調査

（1.6.1.2）
調査範囲
・外壁改修範囲
・図示の範囲
調査内容
（）
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示・
調査報告書の部数
・2部・

・ひび割れ部改修工法

（4.1.4）（4.3.5、6、7、8）

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	・ ※200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70 ・
	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130 ・

エポキシ樹脂
・低粘度形
・中粘度形
注入状況の確認方法
・
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
・
※長さ500mmごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
・
※図示

Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
・
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う
・行わない
可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法

（4.1.4）[4.2.2][4.3.7]
・
・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・

・欠損部改修工法

（4.1.4）（4.3.11～16）

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）	アンカーピンの注入口の箇所数（箇所/㎡）	指定部	一般部	指定部	指定部	注入量（mL/箇所）
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※16	・ ※25	-	-			・ ※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20			・ ※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20			・ ※50
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※9	・ ※16	-	-			・ ※25

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・充填工法
・モルタル塗替え工法

アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。
注入口付アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径 6mm程度
充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
・現場調査材料
（セメントは改修特記仕様書8-2コンクリート工事による）
既調査材料（）
既製目地材
・使用する（形状・図示・）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
・
※図示

・ひび割れ部改修工法

（4.1.4）（4.3.5、6、7、8）

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	・ ※200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70 ・
	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130 ・

エポキシ樹脂
・低粘度形
・中粘度形
注入状況の確認方法
・
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
・
※長さ500mmごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
・
※図示

Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
・
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う
・行わない
可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・浮き部改修工法

（4.1.4）（4.3.11～16）

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）	アンカーピンの注入口の箇所数（箇所/㎡）	指定部	一般部	指定部	指定部	注入量（mL/箇所）
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※16	・ ※25	-	-			・ ※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20			・ ※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20			・ ※50
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※9	・ ※16	-	-			・ ※25

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・充填工法
・モルタル塗替え工法

アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。
注入口付アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径 6mm程度
充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
・現場調査材料
（セメントは改修特記仕様書8-2コンクリート工事による）
既調査材料（）
既製目地材
・使用する（形状・図示・）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
・
※図示

・塗膜防水

（3.6.1～4）

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射 反射率 防水の 適用	備考
・POX	・ ※X-1		・ ・製造所の仕様による	・ ・製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	・ ※X-2				脱気装置 ・設ける ○設けない

・かぶせ方式
エバーコートZero-1H ZHOR-300工法 同等品
ウレタンゴム系塗膜防水X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類
・
設置数量
・個
※主材料の製造所の仕様による

工 法	種 別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	・ ※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
・P2Y	・ ※Y-2 ・			・設ける ・設けない

（3.7.2.3、7.8）

シーリング改修工法の種類
○シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ポンドブレーカー張り・適用する・適用しない
エッジング材張り・適用する・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC	MS-2
アルミニウム製建具等の工場シール	PS-2

シーリング材の目地寸法・
・図示
※改修標準仕様書3.7.3(1a)(7)～(9)
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験・引張接着性試験

（3.9.2.3）

種類
・オープン形式（・押出250形・押出300形・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式・シール形式）
本体幅（）mm 板厚（・mm ※2.0mm）
表面処理
種別・
着色・標準色（）・特注色（）
既存桟木等の撤去
・行う（範囲・図示・全て）
・行わない
下地補修の工法
※図示・
板材折曲げ形の桟木の取付方法
※図示・
桟木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・長尺金属板葺

（13.2.2.3）

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（mm）	厚さ	屋根葺き形式	備考
	・ ※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺き ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材（・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ）

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
雪止め・設置する（施工箇所・図示・）

（13.3.2.3）

施工箇所	形式	山窩、山ピッチによる区分	山窩、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ跡め形 ・かん合形			（）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料
板及びコイルの種類（）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理（標準仕様書表14.2.2による・E種・F種）
断熱材
・有り（種別：厚さ（mm）：防火性能：時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1.0・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
折板のくらは納め
・
※くらは包みによる方法

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。
・ガルバリウム等 保証期間 10年
・折板 保証期間 10年
・長尺カラー鉄板 保証期間 5年

・折板葺

（13.3.2.3）

施工箇所	形式	山窩、山ピッチによる区分	山窩、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ跡め形 ・かん合形			（）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料
板及びコイルの種類（）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理（標準仕様書表14.2.2による・E種・F種）
断熱材
・有り（種別：厚さ（mm）：防火性能：時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1.0・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
折板のくらは納め
・
※くらは包みによる方法

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。
・ガルバリウム等 保証期間 10年
・折板 保証期間 10年
・長尺カラー鉄板 保証期間 5年

・保証書

（3.9.2.3）
種類
・オープン形式（・押出250形・押出300形・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式・シール形式）
本体幅（）mm 板厚（・mm ※2.0mm）
表面処理
種別・
着色・標準色（）・特注色（）
既存桟木等の撤去
・行う（範囲・図示・全て）
・行わない
下地補修の工法
※図示・
板材折曲げ形の桟木の取付方法
※図示・
桟木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・シーリング

（3.7.2.3、7.8）

シーリング改修工法の種類
○シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ポンドブレーカー張り・適用する・適用しない
エッジング材張り・適用する・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC	MS-2
アルミニウム製建具等の工場シール	PS-2

シーリング材の目地寸法・
・図示
※改修標準仕様書3.7.3(1a)(7)～(9)
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験・引張接着性試験

（3.9.2.3）

種類
・オープン形式（・押出250形・押出300形・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式・シール形式）
本体幅（）mm 板厚（・mm ※2.0mm）
表面処理
種別・
着色・標準色（）・特注色（）
既存桟木等の撤去
・行う（範囲・図示・全て）
・行わない
下地補修の工法
※図示・
板材折曲げ形の桟木の取付方法
※図示・
桟木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・施工数量調査

（1.6.1.2）
調査範囲
・外壁改修範囲
・図示の範囲
調査内容
（）
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示・
調査報告書の部数
・2部・

・ひび割れ部改修工法

（4.1.4）（4.3.5、6、7、8）

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mL/m）
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	・ ※200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70 ・
	0.5以上～1.0未満	・150～250	・130 ・

エポキシ樹脂
・低粘度形
・中粘度形
注入状況の確認方法
・
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
・
※長さ500mmごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
・
※図示

Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
・
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う
・行わない
可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法

（4.1.4）[4.2.2][4.3.7]
・
・充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
・

・浮き部改修工法

（4.1.4）（4.3.11～16）

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）	アンカーピンの注入口の箇所数（箇所/㎡）	指定部	一般部	指定部	指定部	注入量（mL/箇所）
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※16	・ ※25	-	-			・ ※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20			・ ※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ ※13	・ ※20	・ ※12	・ ※20			・ ※50
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	・ ※9	・ ※16	-	-			・ ※25

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・充填工法
・モルタル塗替え工法

アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。
注入口付アンカーピンの材質
・
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径 6mm程度
充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法
・現場調査材料
（セメントは改修特記仕様書8-2コンクリート工事による）
既調査材料（）
既製目地材
・使用する（形状・図示・）
仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
・
※図示

・塗膜防水

（3.6.1～4）

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射 反射率 防水の 適用	備考
・POX	・ ※X-1		・ ・製造所の仕様による	・ ・製造所の仕様による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	・ ※X-2				脱気装置 ・設ける ○設けない

・かぶせ方式
エバーコートZero-1H ZHOR-300工法 同等品
ウレタンゴム系塗膜防水X-1（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類
・
設置数量
・個
※主材料の製造所の仕様による

工 法	種 別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	・ ※Y-2 ・		・ ※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
・P2Y	・ ※Y-2 ・			・設ける ・設けない

（3.7.2.3、7.8）

シーリング改修工法の種類
○シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ポンドブレーカー張り・適用する・適用しない
エッジング材張り・適用する・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
ALC	MS-2
アルミニウム製建具等の工場シール	PS-2

シーリング材の目地寸法・
・図示
※改修標準仕様書3.7.3(1a)(7)～(9)
シーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験・引張接着性試験

（3.9.2.3）

種類
・オープン形式（・押出250形・押出300形・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式・シール形式）
本体幅（）mm 板厚（・mm ※2.0mm）
表面処理
種別・
着色・標準色（）・特注色（）
既存桟木等の撤去
・行う（範囲・図示・全て）
・行わない
下地補修の工法
※図示・
板材折曲げ形の桟木の取付方法
※図示・
桟木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・長尺金属板葺

（13.2.2.3）

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（mm）	厚さ	屋根葺き形式	備考
	・ ※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺き ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材（・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ）

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
雪止め・設置する（施工箇所・図示・）

（13.3.2.3）

施工箇所	形式	山窩、山ピッチによる区分	山窩、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ跡め形 ・かん合形			（）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料
板及びコイルの種類（）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理（標準仕様書表14.2.2による・E種・F種）
断熱材
・有り（種別：厚さ（mm）：防火性能：時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1.0・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
折板のくらは納め
・
※くらは包みによる方法

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。
・ガルバリウム等 保証期間 10年
・折板 保証期間 10年
・長尺カラー鉄板 保証期間 5年

・折板葺

（13.3.2.3）

施工箇所	形式	山窩、山ピッチによる区分	山窩、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ跡め形 ・かん合形			（）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・	・			

材料
板及びコイルの種類（）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理（標準仕様書表14.2.2による・E種・F種）
断熱材
・有り（種別：厚さ（mm）：防火性能：時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1.0・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
折板のくらは納め
・
※くらは包みによる方法

※受注者及び施工業者と連名で、保証書を提出すること。
・ガルバリウム等 保証期間 10年
・折板 保証期間 10年
・長尺カラー鉄板 保証期間 5年

・保証書

（3.9.2.3）
種類
・オープン形式（・押出250形・押出300形・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式・シール形式）
本体幅（）mm 板厚（・mm ※2.0mm）
表面処理
種別・
着色・標準色（）・特注色（）
既存桟木等の撤去
・行う（範囲・図示・全て）
・行わない
下地補修の工法
※図示・
板材折曲げ形の桟木の取付方法
※図示・
桟木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・シーリング

（3.7.2.3、7.8）
<

[illegible]

[illegible]

20章

ユニット及びその他工事

・化粧塩ビシート

・小物棚

・ベビーシート

・ベビーチェア

・多目的シート

○消火器ボックス

・ヒ*クチャレール

素材：塩化ビニル樹脂、形状：幅1,200以上
法定不燃材下地に施工した場合の防火性能：不燃
(焼サゲツク(リアテック)、シーアイ化成(焼(ベルビアン))
住友スリーエム(焼(ダイノックフィルム))
当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合はあらかじめ監督職員の承諾を受けること。
ステンレス製折りたたみ式パイプ棚、w300×d200程度
折りたたみ収納式、床・壁固定型、固定ベルト付き
折りたたみ式コンパクト型、コーナー部設置用

折りたたみ収納式、横形、手摺り付き、樹脂製シート張り
シート面の寸法 600×1,500以上
シート面の高さ 約500
収納時の寸法 約300

鋼製 既製品 形状は共通詳細図による
アルミニウム製 既製品 形状は共通詳細図による

21章

排水工事

・屋外雨水排水

・铸铁製ふた

・グレーチング

・街きよ、縁石及び側溝

材料

材料

・基礎の厚さ及び種類 ○図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
・接着剤

側塊の形状及び寸法 ○図示
排水井の種類 ○図示
砂地業に用いる材料
・シルト ○山砂 ・川砂 ○砕砂
種類の記号 ・ *SD295A
○再生クラッシャーラン [G] ・切込砂利又は切込碎石
○現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度 ・ *18N/mm²
凍上抑制層に用いる材料 ・
砂の粒度試験 ・行方 ○行わない
(21.2.1)

名称 種類 適用荷重 鍵 備考
铸铁製マンホールふた ・水封形 ・T-2用 ・有 左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による
・簡易密閉形 (バッキン式) ・T-6用 ・無し
・密閉型 (テーパー・バッキン式) ・T-20用
・中ふた付き密閉形 (テーパー・バッキン式)
・

種類 形式 用途 適用荷重 メインハ* 亜鉛めっき(付着量) 上面形状
・鋼製 ・受降付き、ボルト固定 ・溝ふた(横断用) ・歩行用 ・細目 ・() ・凹凸形
・溝ふた(創溝用) ・T-2用 ・普通目 ・() ・平形
・溝ふた(創溝用) ・T-6用 ・細目
・溝ふた用・U字溝用・T-14用・T-25用
○ステンレス製 ・受降付き、ボルト固定 ・溝ふた(横断用) ・歩行用 - - ○凹凸形
・溝ふた(創溝用) ○T-2用 - - ・平形
・溝ふた(創溝用) ○T-6用
・溝ふた用・U字溝用・T-14用・T-20用

品質・性能は標準仕様書による
街きよ、縁石、側溝 (21.3.1.2)(表21.3.1)

種類	形状、寸法
○縁石	○図示
・L形側溝	・図示
・U形側溝	・図示
・U形側溝ふた	・図示
・自由勾配側溝(√S側溝)	・図示

地業の材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ○砕砂
砂利地業に用いる材料
○再生クラッシャーラン ・切込砂利 ・切込碎石
砂利地業の厚さ ・図示 *100(mm)
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度 ・ *18N/mm²
凍上抑制層に用いる材料 ○再生クラッシャーラン
砂の粒度試験 ・行方 ○行わない

22章

舗装工事

・路床

・路盤

・アスファルト舗装

・コンクリート舗装

路床の材料

路盤の厚さ ○図示
路盤材料 ○図示

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種	・図示
○凍上抑制層	○再生クラッシャーラン[G] ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	○基準面-450
・フィルター層	・砂	○図示

・路床安定処理
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類 ・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種[G]
・フライアッシュセメントB種
・生石灰()
・消石灰()
添加量 ・ kg/m²(目標CBR・3以上)

・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上
厚さ(mm) ・0.5~1.0

引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上

透水係数 ・1.5×10⁻¹cm/sec以上

試験
砂の粒度試験 ・行方 ○行わない
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行方 ○行わない
路床締固め度試験 ○行方 ・行わない
現場CBR試験 ○行方 ・行わない
(22.3.2.3.5)(表22.3.1)

路盤の厚さ ○図示

路盤材料 ○図示

種類	材料												
碎石	・クラッシャーラン ・粒度調整碎石												
再生材	・クラッシャーラン[G] ・粒度調整碎石[G] ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G] (22.4.2~6)(表22.4.4) アスファルト舗装の構成及び厚さ ・ *図示 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト [G] (・60~80 ・80~100) ・ストレータアスファルト 骨材 ○道路用碎石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G] 加熱アスファルト混合物等の種類 ○密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シールコートの乳剤の種類 ・PK-1 ○PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行方 ○行わない 舗装の平坦性 ・ *通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.5.2~4.6)(表22.5.1.3) コンクリート舗装の構成及び厚さ <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>コンクリート舗装</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示</td><td>・図示</td></tr><tr><td></td><td>歩行者用通路</td><td>・図示</td><td>・ *70</td></tr></table> 寒冷地の縁部立下り寸法等 ・図示 材料 コンクリート ・コンクリートの種類 ・普通コンクリート ・設計基準強度 ・18 ・所定のスランプ ・ *8 ・粗骨材の最大寸法 ・20 *普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による 早強ポルトランドセメント ・使用する ・使用しない 注入目地材料 ・高弾性タイプ *低弾性タイプ 目地 種類 ・アスファルト目地板 7×40 間隔 ・ 4.0m程度ごと 構造 ・ ・図示 *標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による 舗装の平坦性 ・ *通行の支障となる水たまりを生じない程度	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示		歩行者用通路	・図示	・ *70
舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)										
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示										
	歩行者用通路	・図示	・ *70										

23章

植栽及び屋上緑化工事

・植栽地の確認等

・植栽基盤の整備

透水性アスファルト舗装

ブロック系舗装

砂利敷き

構成 図示
材料
骨材 ・道路用碎石
・アスファルトコンクリート再生骨材 [G](表22.4.1)
(種類 ・60~80 ・80~100)

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行方
・行わない
・行方
・行わない

砂の粒度試験
・行方
・行わない

舗装の平坦性
・ *著しい不陸がないもの
(22.8.2.3)

○コンクリート平板舗装 [G]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
○普通平板(N)	300x600	・ *60	・モルタル	表面加工
・透水平板(P)			・砂	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
・保水性平板(M)				

クッション材 ・空練りモルタル *砂
普通平板は [G]再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は [G]透水性コンクリート)とする。
仕上がり面の平坦性
・ *歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。

・インターロッキングブロック舗装 [G]

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	備考
・透水性ブロック(P)	車路	・図示	・ *80	・ *5.0	表面加工
・保水性ブロック(M)		・	・	・	・
*普通ブロック(N)		・	・	・	・
・透水性ブロック(P)	歩行者用	・図示	・	・	
・保水性ブロック(M)	通路	・	・ *60	・ *3.0	
*普通ブロック(N)		・	・	・	

クッション材 ・空練りモルタル *砂
歩行者用通路に使用する普通ブロックは [G](再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは [G](透水性コンクリート)とする。
仕上がり面の平坦性
・ *歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。

・鋪石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基層	基層の厚さ(mm)
・花崗岩	・割石	・	・うるこ張り	・コンクリート版	・ *70
・	・図示	・	・	・アスファルト混合物	・ *50

クッション材 ・空練りモルタル *砂
仕上がり面の平坦性
・ *歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする
・
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m²以上
厚さ(mm) ・0.5~1.0
引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上

透水係数 ・1.5×10⁻¹cm/sec以上
・
(22.9.2)

種別 ○A種(施工範囲：○図示 ・通路)
・B種(施工範囲：・図示 ・建物周囲その他)

・植栽地の確認等 (23.1.3)
土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ・行方
・行わない
電気伝導度(EC)の試験 ・行方
・行わない

・植栽基盤の整備 (23.2.2.4)
樹木の植栽基盤の整備
○適用する ・適用しない

24章

緑地工事

・緑地の整備

植栽地

植栽基盤

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

植栽地の確認等

植栽基盤の整備

<

